

平成19年度学校保健統計調査結果速報

徳島県統計調査課

この調査は、統計法（昭和22年法律第18号）に基づく指定統計第15号（文部科学省所管）として実施されるものであり、各学校で学校保健法により、毎年定期的に行われている健康診断の結果から、児童、生徒及び幼児（以下「児童等」という。）の発育並びに健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的として、毎年全国一斉に実施されている統計調査である。

なお、この速報の数値は概数であり、後に文部科学省が公表する報告書の数値が確定値となる。

また、健康状態については、速報では全国値のみの公表であり、都道府県値は報告書で公表される。

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、児童等の発育並びに健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

調査の範囲は、小学校、中学校、高等学校及び幼稚園のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）である。

調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（平成19年4月1日現在）までの児童等の一部である。

3 調査事項

(1) 児童等の発育状態（身長、体重及び座高）

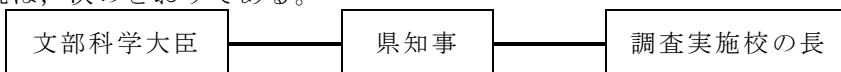
(2) 児童等の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果）

4 調査期日及び方法等

(1) 平成19年4月から6月の間に実施された学校保健法による健康診断の結果に基づき調査した。

(2) 調査の申告義務者は、調査実施校の長である。

(3) 調査系統は、次のとおりである。



(4) 調査は、標本抽出法により行っている。抽出手順は、次のとおりである。

ア 各学校種類ごとに児童等の数の累積和を求める。

イ その累積和を用いて調査実施校を抽出する。

ウ 発育状態調査については、抽出された学校から系統抽出により児童等を抽出する。健康状態調査については、当該年齢の全児童生徒が対象となる。

なお、標本抽出の結果得られた調査対象数は、次表のとおりである。

調査対象（者）数

区分	調査実施校(校)	調査対象者(人)	抽出率
小学校	57	5,423	全児童の12.4%
		22,954	全児童の52.5%
中学校	37	4,419	全生徒の19.7%
		15,222	全生徒の67.9%
高等学校	24	2,112	全生徒の(1~3学年)の9.7%
		15,837	全生徒の(1~3学年)の72.9%
幼稚園	30	1,078	5歳在園児の22.6%
		1,456	5歳在園児の30.5%

調査対象者の上段は発育状態、下段は健康状態調査。

II 調査結果の概要

1 体位の発育状況

(1) 身長・体重・座高の平均値

平成19年度の調査結果から、本県における児童等の身長、体重及び座高の平均値を年齢別にみると表1のとおりである。

ア 身長

男子の身長は、5歳で116.7cm、11歳で146.3cm、14歳で165.4cm、17歳で170.7cmとなっている。各年齢間の身長差は、10歳と11歳の間が7.1cmと最も大きく、また16歳と17歳の間が1.1cmと最も小さい。

女子の身長は、5歳で109.8 cm、11歳で146.4 cm、14歳で156.4 cm、17歳で157.5 cmとなっている。各年齢間の身長差は、9歳と10歳の間が6.9 cmと最も大きく、また、14歳と15歳の間が0.2 cmと最も小さい。

また、10歳と11歳で女子の身長は、男子の身長を上回っている。

イ 体重

男子の体重は、5歳で19.6 kg、11歳で40.5 kg、14歳で56.7 kg、17歳で63.1 kgとなっている。各年齢間の体重差は、13歳と14歳の間が6.2 kgと最も大きく、また、16歳と17歳の間が0.5 kgと最も小さい。

女子の体重は、5歳で19.0 kg、11歳で40.0 kg、14歳で51.0 kg、17歳で54.1 kgとなっている。各年齢間の体重差は、9歳と10歳の間が5.3 kgと最も大きく、また、16歳と17歳の間が0.7 kgと最も小さい。

女子の体重が、男子の体重を上回っている年齢はない。

ウ 座高

男子の座高は、5歳で62.3 cm、11歳で78.5 cm、14歳で88.3 cm、17歳で91.9 cmとなっている。各年齢間の座高差は、11歳と12歳の間が3.4 cmと最も大きく、また、16歳と17歳の間が0.4 cmと最も小さい。

女子の座高は、5歳で61.8 cm、11歳で79.3 cm、14歳で84.6 cm、17歳で85.9 cmとなっている。各年齢間の座高差は、9歳と10歳の間及び10歳と11歳の間が3.3 cmと最も大きく、また、15歳と16歳の間が0.1 cmと最も小さい。

また、10歳から12歳の間で女子の座高は、男子の座高を上回っている。

表 1 年齢別身長・体重・座高の平均値

区 分	身 長 (cm)		体 重 (kg)		座 高 (cm)		
	男	女	男	女	男	女	
幼稚園	5 歳	110.8	109.8	19.6	19.0	62.3	61.8
	6 歳	116.7	115.8	22.0	21.6	64.9	64.6
小学校	7 歳	122.8	122.0	24.9	24.4	68.0	67.5
	8 歳	127.9	127.4	28.3	26.9	70.2	70.2
	9 歳	133.3	133.0	31.1	30.0	72.7	72.7
	10 歳	139.2	139.9	35.8	35.3	75.3	76.0
	11 歳	146.3	146.4	40.5	40.0	78.5	79.3
中学校	12 歳	153.2	152.0	46.0	45.0	81.9	82.1
	13 歳	160.2	154.9	50.5	48.8	85.2	83.9
	14 歳	165.4	156.4	56.7	51.0	88.3	84.6
高等学校	15 歳	168.3	156.6	60.6	52.2	90.6	85.5
	16 歳	169.6	157.2	62.6	53.4	91.5	85.6
	17 歳	170.7	157.5	63.1	54.1	91.9	85.9

(注) 年齢は、平成19年4月1日現在の満年齢である。以下の表においても同じ。

(2) 20年前(昭和62年度)との比較

児童等の体位について、20年前と比較すると表2のとおりである。(図1参照)

ア 身長

男子について、最も伸びが大きいのは11歳の2.6 cmで、最も伸びが小さいのは、6歳の0.0 cmとなっている。

女子について、最も伸びが大きいのは8歳の0.8 cmで、最も伸びが小さいのは、15歳と17歳の△0.2 cmとなっている。

イ 体重

男子について、最も伸びが大きいのは、16歳の2.9 kgで、最も伸びが小さいのは、5歳の0.2 kgとなっている。

女子について、最も伸びが大きいのは、17歳の1.6 kgで、最も伸びが小さいのは、9歳と15歳の△0.4 kgとなっている。

ウ 座高

男子について、最も伸びが大きいのは、11歳の1.6 cmで、最も伸びが小さいのは、6歳の△0.4 cmとなっている。

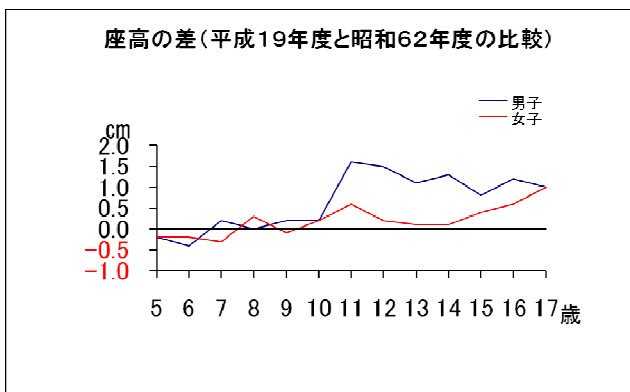
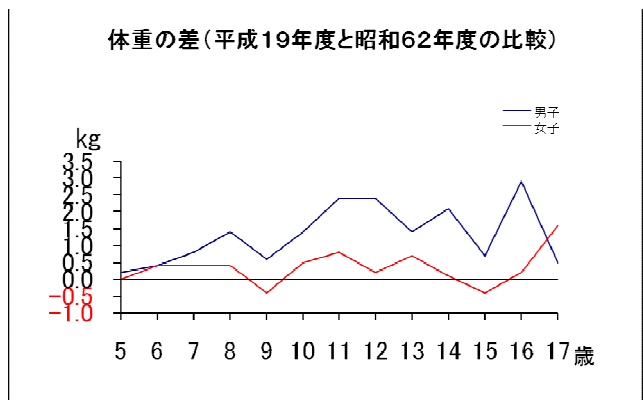
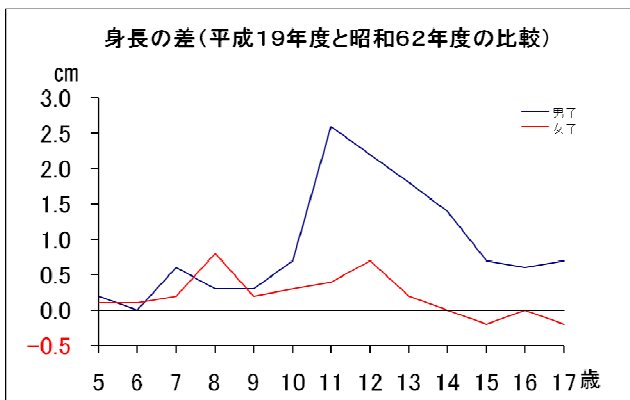
女子について、最も伸びが大きいのは、17歳の1.0 cmで、最も伸びが小さいのは、7歳の△

0.3 cmとなっている。

表 2 年齢別身長・体重・座高の平均値（平成19年度・昭和62年度）

区分	身長 (cm)			体重 (kg)			座高 (cm)				
	平成19年度 A	昭和62年度 B	差 A-B	平成19年度 A	昭和62年度 B	差 A-B	平成19年度 A	昭和62年度 B	差 A-B		
男	幼稚園	5歳	110.8	110.6	0.2	19.6	19.4	0.2	62.3	62.5	△0.2
	小学校	6歳	116.7	116.7	0.0	22.0	21.6	0.4	64.9	65.3	△0.4
		7歳	122.8	122.2	0.6	24.9	24.1	0.8	68.0	67.8	0.2
		8歳	127.9	127.6	0.3	28.3	26.9	1.4	70.2	70.2	0.0
		9歳	133.3	133.0	0.3	31.1	30.5	0.6	72.7	72.5	0.2
		10歳	139.2	138.5	0.7	35.8	34.4	1.4	75.3	75.1	0.2
		11歳	146.3	143.7	2.6	40.5	38.1	2.4	78.5	76.9	1.6
	中学校	12歳	153.2	151.0	2.2	46.0	43.6	2.4	81.9	80.4	1.5
		13歳	160.2	158.4	1.8	50.5	49.1	1.4	85.2	84.1	1.1
		14歳	165.4	164.0	1.4	56.7	54.6	2.1	88.3	87.0	1.3
	高等学校	15歳	168.3	167.6	0.7	60.6	59.9	0.7	90.6	89.8	0.8
16歳		169.6	169.0	0.6	62.6	59.7	2.9	91.5	90.3	1.2	
17歳		170.7	170.0	0.7	63.1	62.6	0.5	91.9	90.9	1.0	
女	幼稚園	5歳	109.8	109.7	0.1	19.0	19.0	0.0	61.8	62.0	△0.2
	小学校	6歳	115.8	115.7	0.1	21.6	21.2	0.4	64.6	64.8	△0.2
		7歳	122.0	121.8	0.2	24.4	24.0	0.4	67.5	67.8	△0.3
		8歳	127.4	126.6	0.8	26.9	26.5	0.4	70.2	69.9	0.3
		9歳	133.0	132.8	0.2	30.0	30.4	△0.4	72.7	72.8	△0.1
		10歳	139.9	139.6	0.3	35.3	34.8	0.5	76.0	75.8	0.2
		11歳	146.4	146.0	0.4	40.0	39.2	0.8	79.3	78.7	0.6
	中学校	12歳	152.0	151.3	0.7	45.0	44.8	0.2	82.1	81.9	0.2
		13歳	154.9	154.7	0.2	48.8	48.1	0.7	83.9	83.8	0.1
		14歳	156.4	156.4	0.0	51.0	50.9	0.1	84.6	84.5	0.1
	高等学校	15歳	156.6	156.8	△0.2	52.2	52.6	△0.4	85.5	85.1	0.4
16歳		157.2	157.2	0.0	53.4	53.2	0.2	85.6	85.0	0.6	
17歳		157.5	157.7	△0.2	54.1	52.5	1.6	85.9	84.9	1.0	

図 1 体位の増加量



(3) 全国平均との比較

平成 19 年度の本県における結果を、全国平均と比較してみると表 4 のとおりである。(図 2 参照)

ア 身長

男子については、8 歳、9 歳、15 歳、16 歳、17 歳で全国平均を下回り、その他の年齢では上回っている。

女子については、9 歳から 17 歳までで全国平均を下回っており、その他の年齢では上回っているか同一である。

イ 体重

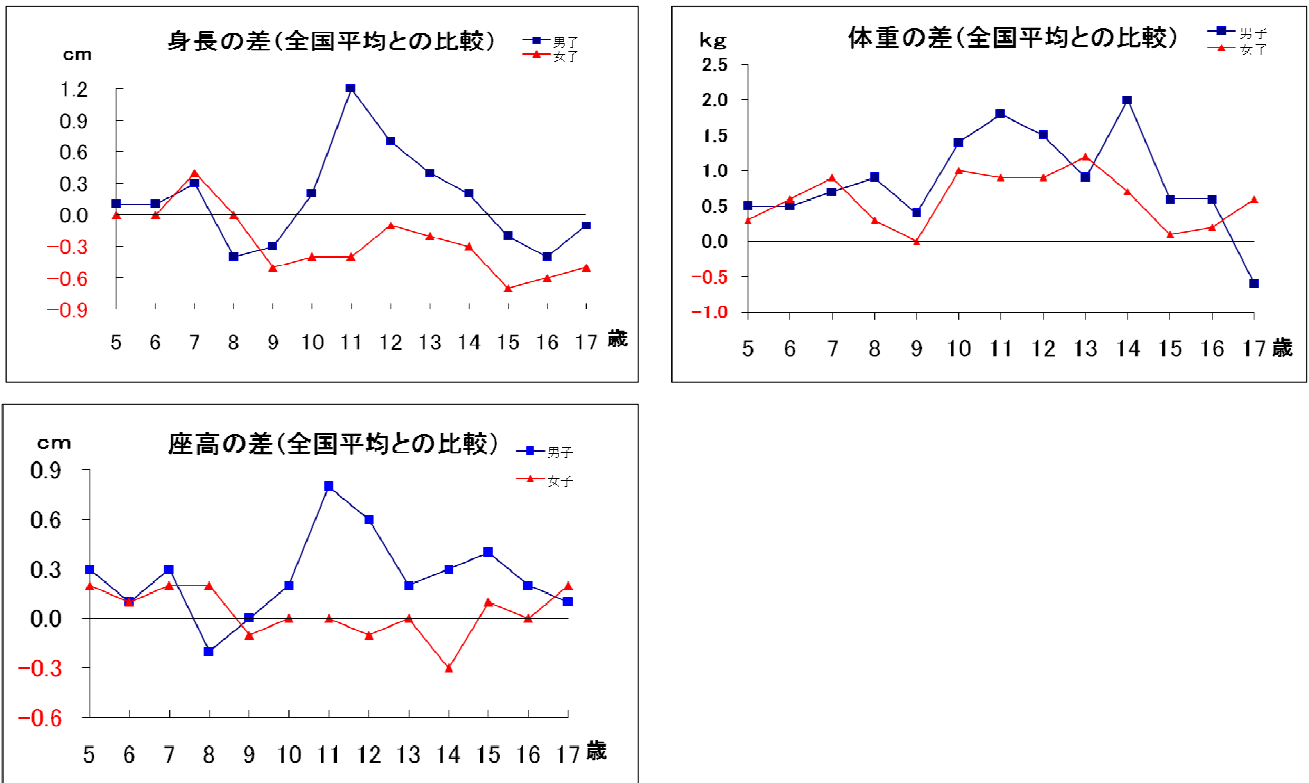
体重については、男子については、17 歳で全国平均を下回っているが、その他の年齢では全国平均を上回っている。女子については全ての年齢で全国平均を上回っているか又は同一である。

ウ 座高

男子については、8 歳で全国平均を下回っているが、その他の年齢では上回っているか又は同一である。

女子については、9 歳、12 歳、14 歳で全国平均を下回っているが、その他の年齢では上回っているか又は同一である。

図 2 県平均と全国平均との差



2 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

肥満傾向児の出現率は、男子では7歳から17歳で10パーセントを超えており、10歳が17.45パーセントと最も高くなっている。また、5歳から16歳で全国値を上回っている。女子では11歳の14.49パーセントが最も高く、5歳から17歳までの全ての年齢で全国値を上回っている。

痩身傾向児の出現率は、男子では10歳から13歳まで及び15歳と17歳で1パーセントを超えており、15歳が3.42パーセントと最も高くなっている。女子では8歳から17歳で1パーセントを超えており、12歳が4.56パーセントと最も高くなっている。

表3 年齢別肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

区分		男				女			
		肥満傾向児		痩身傾向児		肥満傾向児		痩身傾向児	
		全国	徳島県	全国	徳島県	全国	徳島県	全国	徳島県
幼稚園	5歳	2.87	7.17	0.26	0.27	2.96	4.20	0.43	0.15
	6歳	4.79	6.04	0.39	0.33	4.70	9.23	0.55	0.26
	7歳	6.77	10.01	0.38	0.15	5.71	11.63	0.66	0.19
小学校	8歳	8.09	13.66	0.86	0.55	7.50	8.40	1.06	1.09
	9歳	10.23	11.02	1.56	0.46	8.16	9.81	1.77	1.93
	10歳	11.59	17.45	2.54	1.50	8.92	14.07	2.88	1.47
	11歳	11.64	13.11	2.85	1.85	9.47	14.49	3.36	4.02
中学校	12歳	12.41	16.19	2.38	1.15	9.67	13.25	4.01	4.56
	13歳	10.84	12.52	1.64	1.80	8.99	13.32	3.57	2.44
	14歳	10.22	16.82	1.63	0.88	8.75	9.97	2.69	1.81
高等学校	15歳	13.47	15.17	2.38	3.42	9.87	12.88	2.38	3.20
	16歳	12.92	13.52	1.69	0.16	9.18	9.75	1.83	1.03
	17歳	12.87	12.33	1.38	2.55	9.23	11.35	1.42	1.73

(注) 1 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

2 痩身傾向児とは、肥満度が-20%以下の者である。